



④～⑥ゴム手袋を装着。生ごみ投入。さあ、混ぜようか。⑦反射材配布。丁寧な説明が活動の第一歩。⑧交通安全への思いをのせたのぼり旗。

①工場の設備に興味津津な子どもたち。②電気自動車に試乗。静かなエンジン音にビックリ。③環境学習。いつもと違う勉強に子どもたちも真剣。



まちづくりの アイデアが実現

市制施行60周年市民提案事業

9月1日で市制施行60周年を迎える大竹市。この記念すべき日を、「よいまち」実現の契機となるよう、市民の皆さんのアイデアを募集しました。そのアイデアをもとに、市民の皆さんと行政と一緒に考え、第1次募集分では、7件の交付金交付事業が決定。今月号では、その中から3件の事業について、取り組んだ方を中心に紹介します。



大 竹市の未来を担う 子どもたちへの 環境学習事業

(戸田工業株式会社)

玖波小学校の児童が、省エネの取り組みを考えはじめる機会となるように、地球温暖化防止をテーマとした環境学習や節電・CO2削減などを目的としたグリーンカーテン。大竹を愛する心を育むために、地元企業の仕事内容や技術力を児童に伝える工場見学を実施した戸田工業株式会社。この事業を担当した真田和俊さんに、市民提案事業へ、応募した経緯や成果について伺いました。

当社は、民間企業ですので利益を追求する企業活動が本来の姿です。しかし一方で、社会貢献事業にも可能な限りの力を注いでいます。企業活動を続けていくためには、私たち企業を受け入れてくれている社会の理解と協力が必要と考えているからで



真田和俊さん(環境企画チームリーダー兼CSR環境センター長)

す。大竹市では、玖波小学校への出前環境学習や工場見学の受け入れ、小方学園での出前授業の協力、地域の清掃活動など、積極的に取り組んできました。

応募したのは、今まで取り組んできた社会貢献事業を下地として、60周年を迎える大竹市と一緒に盛り上げていきたいという思いからです。今までとは違い、子どもたちの環境

意識が効果的に高まるよう、省エネ活動などの新しい要素も追加し、継続性のある一体的なプログラムとして環境学習を提案しました。初めての試みでしたので、学校の先生や市職員の方と何度も協議したり、先進的な企業の事例を研究したりと学習内容を詰めていく作業には苦労もありました。しかし、子どもたちの感想文やポスターを見ると、子どもたちに我々の思いがしっかりと伝わっていて、喜びもひとしおでした。まだ全て終わっていませんが、未来を担う子ども達が環境問題に引き続き取り組んでもらえるよう、このような社会貢献事業を続けていきたいと思っています。

戸田工業株式会社▼1933年に設立。東証1部上場の化学メーカーで、トナー材料、着色剤、磁性材料、リチウムイオン二次電池材料などを製造販売。酸化鉄では全国トップメーカー。

ダンボールコンポスト による家庭生ごみの 減量提案

(NPO法人えこらいふ大竹)

ダンボール箱を利用した生ごみ処理方法「ダンボールコンポスト」は、微生物を活用して「生ごみ」を「堆肥」に変え、ごみの減量化に効果を発揮します。ダンボールコンポストの良さを知ってもらうため、取り組み状況を報告するモニターを昨年12月に募集し35人が参加。その中の1人である橋下ヒトミさんに感想を伺いました。



橋下ヒトミさん

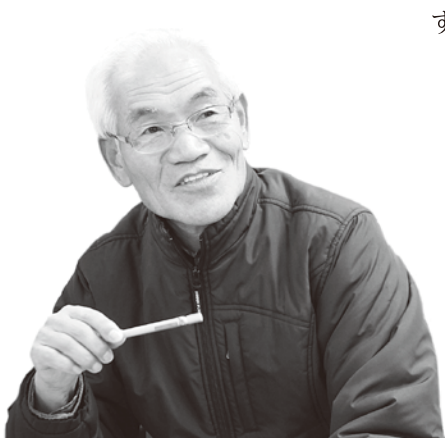
私はモニターに参加する前から知人に「ダンボールコンポストの堆肥で野菜や花がよく育つ」と聞いて興味を持っていました。また実際に、孫がダンボールコンポストの堆肥で、立派に育った大根を小学校から持ち帰ったのを見て、やりたいと思うようにもなりました。そんなときに、タイミング良く募集があり、モニターに参加。このことが、生ごみのリサイクルを始めたきっかけです。始めた頃は、うまくできるか心配

高 齢者交通安全事業

(大竹高齢者交通安全モデル地区活動推進協議会)

高齢者の交通事故減少を目標に、住民主体の交通安全活動を推進する大竹高齢者交通安全モデル地区活動推進協議会。提案事業では、のぼり旗の設置や啓発チラシの配布や交通安全講習会などを実施しました。協議会の設立のいきさつや思いを正木直会長に伺いました。

大竹高齢者交通安全モデル地区活動推進協議会は、昨年8月に設立。大竹地域交通安全活動推進委員協議会、大竹交通安全協会大竹・栄・木野支部のほか、大竹市シニアクラブ連合会や大竹交通安全母の会が参加しています。



正木直会長

提案事業では、モデル地区啓発用のぼり旗の設置や反射材用品の配布、広報車による毎月の広報活動、敬老会などの高齢者が集う場を活用した交通安全講話会の開催。昨年11月には反射材着用の効果を体験してもらう「夜間交通安全教室」を旧木野小学校グラウンドで行い、30人以上の高齢者に参加していただきました。私たちは、近年、増加している高齢者の交通事故の減少につながるよう、住民主体の交通安全活動の機運を高めていくことを目的に協議会を立ち上げました。具体的には、夜間における反射材やシートベルト着用率の向上を目指しており、実際に効果が出ていると警察からも評価いただいております。今後も高齢者の交通事故が減少するように取り組んでいくことはもちろんですが、その取り組みをより効果的に実施できるよう、目的に賛同してくれる団体や仲間を増やしていきたいと考えています。

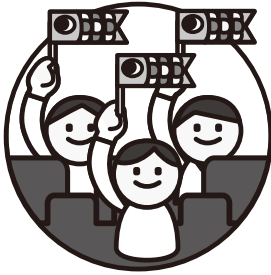
大竹市制施行60周年市民提案（2次募集分） 交付金交付事業

※交付金：17万4,000円／件

事業概要（申請内容の抜粋）		決定理由
事業名	事業概要	
青少年育成文化交流活動 （一般社団法人大竹青年会議所）	子どもたちと大竹和紙を中心とした大竹の文化の学習、体験などを行う。 ■行灯作り（楮精製、紙漉き体験有） ■大竹の歴史・文化・産業取材体験 ■子どもディスカッション	■大竹の未来を担う子どもたちが、大竹を好きになってもらえる場の提供として期待 ■原料づくりから製造までの体験を通して、大竹の文化をより身近に感じられる工夫と期待
おおたけわしこいち 大竹和紙小市 （PiNECoNeS）	大竹和紙に対する理解を深めるため、大竹和紙を使ったイベントを開催。 ■市内外の作家による和紙作品の展示販売 ■歴史お散歩ツアー（亀居城址、西念寺、厳神社など） ■大竹和紙情報ホームページの制作	■市外の方にも大竹和紙に興味を持ってもらえ、販路拡大や継続性の可能性がある取り組み ■現在大竹和紙は文化という位置づけであるが、今後産業化としての可能性を探るきっかけになることを期待
大竹駅前音楽喫茶 （Oh！パンプー倶楽部）	大竹駅付近の空店舗などを活用し、地元のお店とのコラボレーションによる駅前音楽喫茶を開催。 ■演奏者、来場者を募り、空店舗などを会場としたライブの開催 ■駅前商店街の協賛による飲食物の提供 ■60周年記念イメージソングの制作	■駅前商店街の協力を得て、半年にわたって複数回開催する提案になっており、賑わいやコミュニケーションの場として効果が上がることを期待
ふるさと大竹再発見◆ わたしのおおたけみつ つけた◆フォトコンテスト （大竹観光協会）	大竹の歴史的財産・文化的行事・素晴らしい自然などを再発見し、大竹の良さを知ってもらうフォトコンテストを実施。 ■市内の歴史・文化・自然を撮影した写真を募集 ■式典で入賞作品を展示するとともに、観光パンフレット作成や市のPRに活用	■フォトコンテストを広くPRすることで、市外に住む人が大竹を訪れるきっかけにもなる ■大竹のよいところを市内外にアピールする際に、市としても作品を積極的に使用できる
大竹市の歴史お届け事業 （大竹市歴史研究会）	大竹市の歴史を知り、興味を持ってもらうための取り組みを実施。 ■貴重な市の石造文化財の拓本の実施および展示会 ■市の歴史や文化財、祭りなどの学習会 ■文化財・歴史を巡るバスツアー ■歴史研究成果のデータ化および公開	■大竹市の歴史や文化を幅広く紹介することで、「大竹を愛する人づくり」につながる取り組み ■拓本の技術の継承の機会にもなる
歴史語る亀居城・お宝探しと大竹グルメ三昧 （亀居城まつり実行委員会）	イベントを開催し、さまざまな年代の市民に対して亀居公園の利用促進を図る。 ■亀居城を中心とした歴史勉強会 ■歴史を勉強しながら楽しむ宝探し ■市の食材を使った飲食イベントの開催	■大竹の歴史を学び、市の食材を楽しむことが、「大竹を愛する人づくり」にもつながる ■多くの人と人、また団体と団体が関わって展開できることを期待
中山間地域活性化のための特産品開発と休農地解消 （栗谷・農業研究部）	■栗谷の遊休農地を活用し高齢者でもできる作物の栽培 ■マロンの里への出荷、販売（将来的には市内加工業者へも出荷）	■耕作放棄地を増やさないという市の施策の方向性と合致した取り組み ■地域の課題解決のためにこうした取り組みが拡大していくことを期待
地域ジン・まちカフェプロジェクト （地域ジンまちカフェプロジェクト）	■玖波エリアの西国街道マップ作製 ■古い民家（町家）を使った町家カフェにおいて、昔の写真パネル展示、学びのカフェ講座開催など ※ カフェとは、人々がオープンに会話し自由にネットワークを築ける空間です。	■地域ジンに、地域の課題解決などに向けた新しい公民館活動の一形態として期待 ■町家カフェの取り組みは、玖波地域に留まらない人材育成の場になることを期待

※平成26年3月11日現在

募集



カーブ激励観戦 日帰りバスツアー

漁業振興対策協議会
（くば漁業協同組合内）
☎57034・FAX573261）
※ Oh!パンプー倶楽部と漁業振興対策協議会協働事業

和紙じゃ、鯉のぼりじゃ、
カーブの応援じゃ!!

今年のおおたけカキ水産まつりにも、広島東洋カーブから選手が駆けつけ、盛り上げてくれました。これに感謝し、カーブ激励観戦バスツアーを開催します。

今回は、伝統の手すき和紙こいのぼりを球場で振って、カーブを応援。こいのぼりの表面には絵付けをし、裏面にカーブへの応援メッセージを書きこみます。事前に絵付け教室も開催します。

また参加者の中から抽選で試合観戦チケットを40組（2席1組）の方にプレゼントします。

とき 4月26日(土)
ところ マツダZoom・Zoomスタジアム広島
対戦相手 読売ジャイアンツ
対象 市内在住または勤務の方
定員 100人（申込順）
費用 1人5,000円

※ 内野指定席・往復のバス代金・こいのぼり込み。ただし食事・飲み物は自己負担。

申し込み 4月16日(水)までに電話またはファクスで漁業振興対策協議会へ。住所・参加者氏名・電話番号・年齢をお知らせください。

※ ツアー当日の詳細は別途通知。

こいのぼりの絵付け教室

とき 4月19日(土) 13時30分

ところ 総合市民会館

対象 観戦申込者

持参物 タオル、絵筆、水いれ（空き缶、空き瓶も可）



第2回ダンボール コンポストモニター

リサイクルセンター
☎525101

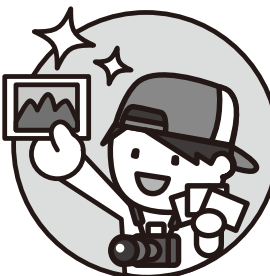
生ごみのリサイクル

ダンボール箱と園芸材料だけでできる家計に優しいダンボールコンポスト。家庭で手軽にごみ減量化に取り組めます。事前説明会参加後に、ダンボールコンポスト一式を無償提供。原則3カ月間、生ごみのリサイクルに取り組み、その内容を所定の様式で報告してもらいます。

対象 市内在住の方（経験不問）
※ 前回、参加した方は、申し込みできません。

定員 40人（申込順）

申し込み 4月15日(火)までに電話でリサイクルセンターへ。
わたしの太竹みつけた!!



ふるさとおおたけ フォトコンテスト

大竹観光協会
☎523105

魅力再発見をテーマに、市内の歴史的財産・文化的行事・素晴らしい自然を撮影し、フォトコンテストに応募してみませんか。

大竹から伝えたいものの、発信したいものをお待ちしています。

応募方法は、大竹観光協会にお問い合わせください。

応募期間 7月11日(金)まで。

作品 四つ切りまたはA4サイズ

賞 入賞者には、賞状および副賞を授与します。

展示・発表 入賞作品は、8月31日(日)に開催予定の市制施行60周年記念式典会場で展示。発表は入賞者本人に直接通知し、市ホームページや中国新聞などでも行う予定です。

9月までの第2土曜日に



音楽喫茶おおたけ オープン!!

Oh!パンプー倶楽部
（代表:前田）
☎090-9509-2511

大竹を元気に盛り上げるため、大竹駅前店舗で演奏会を開催。県内外で活動中のフォーク、歌謡曲、ジャズなど、多彩なジャンルからの出演を予定しています。飲んだり、食べたり、歌ったり、楽しいひとときを共に過ごしましょう。

今後、市制60周年を記念した歌の募集も計画しています。

とき 4月12日(土)

19時～20時30分

ところ 大竹駅前丸山商店2階

出演

●B1（ビーン）▼ビートルズのカバーバンド。見た目もビートルズに懐かしの名曲を演奏。

●BossanoAr（ボッサノアール）▼バンドリンと七弦ギターを操る男女のユニットが、ブラジル音楽を演奏。

参加料 1人500円

申し込み 直接電話でOh!パンプー倶楽部へ。（当日参加可）